



地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センター

東千葉メディカルセンター

EASTERN CHIBA MEDICAL CENTER

センター長のコラム Vol.11 医療費の不払い問題



東千葉メディカルセンター長の増田政久です。

日本は2020年に2度目となる夏季オリンピックの開催を予定しています。最近のマスメディアを見ていると、多くの旅行者や観戦者が日本に訪れることへの歓迎ムードが高まる一方で、開催期間中の交通事情や大会で使用される会場の問題など、さまざまな問題提起がされるようになってきているのを感じます。医療においても、そういったニュースの影響を受けてなのか、渡航者の医療費についての話題を多く見かけるようになりました。

そこで今回は、かねてより問題視されてきた「医療費の不払い(未収金)」についてお話ししようと思います。

まずは海外旅行者の問題からです。昨年、厚生労働省が医療機関を対象に行った「外国人旅行者や在留外国人の受け入れ体制などの実態調査」の中で、医療費について回答した1,378病院のうち、486病院(35.3%)が外国人患者(旅行者・在留者)による医療費の不払いを経験していると回答しました。その理由として、大多数の医療機関が「外国人患者の受け入れには言語など意思疎通の問題がある」との回答をしていることから、コミュニケーションの難しさがあげられるのでしょうか。また、渡航時に海外旅行保険に入っていないために医療費負担が高額になりやすいことも要因の一つであると言われており、こういった外国人患者による未払いは、病院にとって珍しいものではなくてきています。

国内の患者においても、未払いについては以前よりたびたび問題視されてきました。国内における未収金の多くは、入院による医療費が占めています。外来診療に比べ、入院した場合の医療費が高額になりがちな影響でしょうか。しかしながら、外来診療についても1つ1つの金額は少なくとも発生率が高い傾向があり、小規模な医療機関では、未収金の金額よりも回収経費が高くなるケースや人員不足などの理由により、回収を諦めざるを得ないような状況があることも聞きます。

皆さんもご存知のとおり、医療機関は診療報酬や医療費を主な収入源として運営しています。未収金は医療機関にとって大きな負担となり、近年、大きな問題となっています。また、患者さんの医療費負担の公平性を確保するためにも、多くの病院が積極的に未収金の回収に取り組み始めています。もちろん、当センターも一部に法律事務所の協力を得ながら、回収の取り組みをしています。

とはいえ、病気などは患者さんの懐具合を考慮してくれませんので、金銭的に困難な状況下でも診療や治療を受けることがあるかと思えます。すぐにお支払いが難しいときには、あまり思い悩まずに、医事課までご相談してください。

東千葉メディカルセンターからのお知らせ

◆市民公開講座

医師による一般の方向けの講座を開催します。
とき▶9月12日(水)午後2時～(時間にご注意ください)
ところ▶東千葉メディカルセンター2階講堂
講師▶救命救急センター長、救急科・集中治療部長 医師 渡邊栄三
内容▶講演＝「当地域の救急医療の現状」

◆糖尿病教室

毎月、さまざまなテーマで糖尿病教室を開催しています。
とき▶9月7日(金)午後2時～
ところ▶東千葉メディカルセンター2階講堂
内容▶・運動を行うための大切なこと
～自分にあった靴を履いていますか?～(理学療法士)
・たんぱく質の摂りすぎで思わぬ落とし穴(管理栄養士)

◆認定看護師によるヘルスフェア 2018

救急看護、感染管理、皮膚・排泄ケアの認定看護師が役立つ情報をお伝えします。
とき▶9月6日(木)①午前9時～11時②午後1時～3時
ところ▶東千葉メディカルセンター2階講堂

◆ロビーコンサート

合唱と楽器演奏によるコンサートを開催します。
とき▶9月12日(水)午後3時～
ところ▶東千葉メディカルセンターセンタープラザ

【共通事項】

費用▶無料
※事前の申込みは不要です。直接会場にお越しください。
問い合わせ▶東千葉メディカルセンター総務課☎(50)1199

◆病院見学会

看護師免許をお持ちの方や看護学生を対象に、病院見学会を行っています。

◆復職支援研修

看護師免許をお持ちで、看護師の仕事や病院勤務から離れている方などを対象に、復職支援の研修を行っています。

【共通事項】

費用▶無料
※詳しくはホームページをご覧ください。お問い合わせください。
問い合わせ▶東千葉メディカルセンター看護師確保対策室 ☎(50)1199

	男	女
平均寿命(2017年)	81.09歳	87.26歳
健康寿命(2016年)	72.14歳	74.79歳
差	8.95年	12.47年

日本では平均寿命・健康寿命ともに伸びています。健康寿命とは、健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことです。平均寿命と比較すると、男性で約9年、女性で約12年の差があります。

自宅で行えるロコトレ バランス能力をつける「片足立ち」

左右1分間ずつ一日3回

転倒しないようつかまるものがある場所で行う

床につかない程度に片足を上げる

- 姿勢をまっすぐにして行いましょう。
- 支えが必要な人は、十分注意して机に両手や片手をつけて行います。
- 指をついただけでもできる人は、机に指先をつけて行います。

ロコモティブシンドローム予防講演会

自分の体力をチェックしよう

◆ラロからロコモ予防

健康で長生きするためには、ロコモティブシンドローム(運動器の機能低下状態)を防ぐことが大切です。講演会では理学療法士の指導のもと、体力を測定し、ロコモの予防方法をお伝えします。この機会にぜひロコモ予防をはじめませんか。

とき▶9月15日(土)午後1時～4時(受付は午後0時30分)

講師▶理学療法士 中山泰貴さん(医療法人社団上総)

会場▶会山之内病院リハビリテーション課

ところ▶ふれあいセンター1階多目的室

対象▶市内在住の65歳以上の方で要支援・要介護の認定を受けていない方

定員▶先着60名

費用▶無料

申込方法▶電話または窓口で申し込み

申込・問い合わせ▶高齢者支援課 ☎(50)1165

防災行政無線による緊急情報の伝達試験

地震・津波や武力攻撃などの災害発生時における緊急情報を確実にみなさんにお伝えするため、防災行政無線を使用した情報伝達試験を行います。これは、全国瞬時警報システム(Jアラート)を用いたもので、東金市以外の地域でも、全国的にさまざまな伝達手段で試験が実施されます。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。

とき▶8月29日(水)午前11時ごろ

【放送内容】

- ▶防災無線チャイム
- ▶「これはJアラートのテストです」
- ▶「こちらは防災東金です」
- ▶防災無線チャイム

※繰り返し3回

問い合わせ▶消防防災課 ☎(50)1226

肝炎ウイルス検診 (B型・C型)

「沈黙の臓器」といわれる肝臓は、病気が進行していても自覚症状が現れない場合があります。病気の原因は肝炎ウイルスであることが多く、感染に気づかずに放置しておくと、長い年月の間に慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんへと進行することが少なくありません。

B型・C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかは血液検査で分かります。これまで受診機会がなかった方は、一度、検査を調べてみましょう。

受診方法▶健康増進課の窓口またはホームページで申し込んだ後に発行される受診券を持参し、市と契約している医療機関で受診

対象▶市内に住居登録のある方で、昭和54年4月1日以前に生まれた方(市の基本健康診査と同時に実施したものなど、過去に肝炎ウイルス検診を受診した方は対象外)

費用▶無料
問い合わせ▶健康増進課 ☎(50)1173

